

キャラクター名
リーズ・リコルド

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	宗教家	カヴァー	聖典騎士団員
	ウロボロス			年齢	18歳	性別
オプション	覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	39%
出自	一般家庭		経験	暗躍	邂逅	交戦

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	0	1	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉	2	
回避			知覚	1		意志	2	1	調達		
運転:			芸術:			知識: ご飯	6		情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	聖書
パワーソース: ビサイド	十字架
引用による助言	
調理用セット	
食器	
油類	
香辛料&調味料	
袋	
携帯端末	
制服(シスター服)	
衣服	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
奇妙な隣人	P	N		
無疵なる石	P	N		
オールダム	P 好奇心	N 脅威		
ソニア	P 信頼	N 脅威		
黒羽 蒼空	P 良い	N 玩具(ツッコミ)		
三人娘	P 遺志	N 悔悟		
ドクトル	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ブループラッド	5		常時	至近	自身	自動		
効果: 取得時にあなたが取得している《オリジン:》を一つ選択する あなたは選択した《オリジン:》のレベルを+LVして効果を算出できる このエフェクトは侵蝕率によるレベルアップしない								
オリジンレジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	-		
効果: 精神の達成値+(LV×2)								
原初の赤: サイレンの魔女	7	6	メジャー	視界	シーン(選択)	対決		
効果: 攻撃力(LV×3) 装甲無視								
ドリームダイバー	2	1	メジャー	至近	自身	-		
効果: すべての《情報:》の代わりに使用して、情報収集を行うことができる このエフェクトは1シナリオに[LV+1]回まで使用できる								
浄玻璃の鏡	1	1	リアクション	至近	自身	対決		
効果: RCでドッジ可								
シャドウダイバー	★							
効果:								
まだらの紐	★							
効果:								
イーザーフェイカー	★							
効果: ブラッドリーディング								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ローマ教皇庁の下部組織である、封聖省遺産対策班 聖典騎士団所属の正騎士
 六年前、近くの教会の倉庫に忍び込んだ際、そこに安置されていた賢者の石に適合し覚醒(忍び込んだ理由?美味しいご飯があるってだまされたんです)
 それから、程なくして騎士団の人間が訪れ、同行を求められたモノの最初は拒否。しかし、三度目に訪れた団長のとある台詞に快諾した。
 保護当初は三つ以上のシンドロームのエフェクトを使っていた。それが知れた為騎士団が動いたのである。

そこから数年はこれといって何かがあった訳ではない。
 食堂のご飯が今日だったので脱走を試みたとか、給料を全部溶かして怒られたとか、訓練とか、近所の大食いチャレンジの店荒らして怒られたりとか、ついでに
 出禁になったりとか、まともに使えない賢者の石の制御とか、騎士団の食糧庫空にして怒られたりとか、団長秘蔵のお菓子食べたとかそれぐらいだ。

実戦に投入されたのは三年前、騎士団の従騎士として戦列に加わり、遺産回収の任に就く
 その際に現場でナイトフォールや、マスターサムライであるオールダムとの交戦経験もある
 尚、後者とは現場以外では悪い仲ではない、行き倒れてた所を助けて貰った事もあり、悪くは思っていない

前述したが、賢者の石を彼女は上手く扱えていなかった。それ故に従騎士として扱われていた
 しかし、一年前突如として、彼女の周りに淡く光る半透明の彼女が現れこう言った「キズナです！ちょっと、お外見る為に失礼しますね！」と
 彼女曰く、通常の賢者の石でなくて特殊なモノらしい。なんでも人の記憶に干渉するとかで・・・
 それ以降、使い方を学び正しく使えるようになった事で正騎士に認められた

現在は異文化交流という名目でとある場所に派遣されている

封聖省について